

オリンピック・パラリンピックで わがまちの「黄金時代」を築き上げる！

中央区長 矢田美英



はじめに

中央区は面積わずか10㎓。東京都全体の0・46%と23区の中でも1・2を争う小さなまちですが、23区のほぼ中央に位置し、江戸以



日本橋肴市之図 (区立京橋図書館所蔵)

来400年を超える長きにわたって常に文化・商業・情報の中心として発展してきた、由緒あるまさに日本の要です。江戸五街道の起点であり日本国道路路元標が置かれる「日本橋」、ファッショナブルで上品な大人の顔を持つ日本一のショッピングストリート「銀座」、食のブランド「築地」、日本のウール街「兜町」、東京の陸の表玄関「八重洲」、江戸っ子気質の残る下町情緒いっぱい「人形町、佃、月島」、2020年オリンピック・パラリンピックの選手村ができる海の表玄関「晴海」など、東京を象徴する名所が凝縮し、そこに住み活動している人々は生き生きと躍動しており、「小さくともダイヤモンドのようにキラリと光り輝く」都心中の都心です。

五街道の起点名橋「日本橋」

江戸のシンボル「日本橋」は、江戸幕府が開かれた慶長8(1603)年に徳川家康公の命で架橋され、その翌年には東海道、中山道、甲州街道、日光街道、奥州街道の五街道の起点として定められた。五街道は、幕府の直轄とされ、諸国大名の参勤交代はもとより、流通、通信の大動脈となり、幕藩体制において極めて重要な位置を占めていた。また、家康公は城下に市街地をつくるために関西から商人たちを呼び寄せ、店を開かせた。やがて、日本橋をはさんで伊勢商人や近江商人たちの大店が連なる一大繁華街が生まれ、江戸の発展と繁栄を支えていくこととなる。

初代日本橋が木橋として建設さ

れてから、19回の架け替え、改修を経て、現在の20代目である御影石の名橋「日本橋」に至る。明治44(1911)年に、近代化の進む中、東京のシンボルとして、時の建築土木の最高の技術陣と彫刻家が共同し、和洋折衷の秀麗なルネッサンス様式アーチ型の石橋が建設された。20代目名橋「日本橋」は、明治、大正、昭和、平成の4世代を見つめ、震災や戦火にも耐え、平成11(1999)年には国の「重要文化財」に指定されるとともに、平成23(2011)年には、日本橋架橋百年祭が盛大に開催された。同年、橋詰の「日本橋船着場」を整備しているが、発着する舟運ツアーは日ごとに増え、本区の舟運観光の中心といった新たな役割も担っている。



舟運観光の中心を担う「日本橋船着場」

このようにまさに日本の中心である名橋「日本橋」は、歴史ある貴重な橋とだけでなく、地域のシンボルとして、「名橋『日本橋』保存会」をはじめ地域の方々により毎年行われている春の名橋「日本橋」まつり、夏の橋洗い、1月3日の箱根駅伝復路コースの催し物などさまざまな活動を通し、長きにわたり守られ、愛され続けてきた。今後も、地元の皆さまと一体となつて日本橋を守り、次の100年にしっかりと引き継いでいきたい。

今後の展望

2020年には、世界最大・最

高の「スポーツと平和の祭典」オリンピック・パラリンピック競技大会がわがまち中央区を中心に開催される。

前回東京で開催された1964年大会では、名橋「日本橋」上空から青空を奪った首都高速道路が建設され、今となっては「負の遺産」の象徴となつている。今回56年ぶりに開催される東京五輪を機に日本橋川や昭和通りの上空に再び青空を取り戻すことは、地元区である本区としても長年にわたり切に願う大きな課題の一つである。ぜひともその夢を実現できるように、国や都などに積極的に働きかけていく所存である。

また、本年1月に実施した区民意識調査では、区民の8割を超え、方(81.4%)から大会開催に対する期待を抱いている回答が得られたことから、これから開催までの6年余りは、中央区の魅力の世界に向けて発信する絶好の機会と捉え、選手村や交通アクセスはもとより、日本橋や銀座をはじめ区内全体の良好なまちづくりの一段と弾みをつけ、「中央区の黄金時代」をしっかりと築き上げていく決意である。

そして2020年、さらにその先の未来も見据え、区民の皆さまが将来にわたつて夢と希望を持ち、快適な都心居住を謳歌することができるよう、本区のさらなるにぎわい・発展に結びつけていきたい。



毎年恒例の日本橋「橋洗い」

江戸五街道

一口メモ

日本橋からはじまる五街道

徳川家康は関ヶ原の合戦に勝利すると、翌年の慶長6(1601)年には、いち早く街道の整備に着手。江戸幕府が開かれたのは、それから2年後のことである。

日本橋を起点として、京都にいたる東海道と中山道、甲府を経て下諏訪で中山道と合流する甲州街道、日光東照宮につながる日光街道、宇都宮から分かれて白河につながる奥州街道。これらを五街道という。

この五街道の、日本橋を出発して最初の宿は、東海道は品川、中山道は板橋、日光・奥州街道は千住、そして甲州街道は内藤新宿で、まとめて江戸四宿と呼ばれた。



企画協力…全国街道交流会議「街道交流首長会」